

ECHO

Vol. 12 第27期中間事業報告書
平成13年4月1日～平成13年9月30日



株主の皆様へ。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。このたび第27期中間期（平成13年4月1日～平成13年9月30日）を経過いたしましたので、「第27期中間事業報告書」をお届け申し上げます。

代表取締役社長
保志 忠彦



当中間期の概況

当中間期のがわ国経済は、構造改革への期待から一時的には回復感が伺えたものの、デフレの進行と景気を牽引してきた情報技術やハイテク関連企業の極端な業績悪化が、实体经济の想像以上の疲弊を再確認させ、加えて9月の米国同時多発テロ事件が市場心理を一層冷え込ませるなど極めて厳しい状況で推移いたしました。

当業界におきましても、引続く個人消費の低迷がナイト市場やカラオケボックスなどデイ市場の事業経営を圧迫し、これが買換需要の減退とメーカー間の価格競争に一層拍車を掛ける状況となっております。

この様な環境のなか当社グループは、通信カラオケ「DAM」による市場シェアの拡大を目指し、主力商品「サイバーDAM」「DAM-G128」を中心に販売及び機器賃貸に注力する一方、前期に立ち上げた携帯電話向け着信メロディー配信サービスなどのeビジネス事業にも積極的に取り組んでまいりました。

以上の結果、当中間期の売上高は43,313百万円と前年同期比2.3%の増加に留まりましたが、利益面においては販管費の低減もあり営業利益は前年同期比25.8%増加の5,086百万円、経常利益は前年同期比11.9%増加の4,681百万円となりました。一方、前中間期において特別損失に計上した有価証券やゴルフ会員権の評価損が半減したことから当期純利益は1,908百万円と前年同期に比べ167.2%の大幅増加となりました。

通期の見通し

通期の見通しにつきましては、米国同時多発テロ事件の影響もあり世界的な景況感の悪化が、世界同時不況の懸念を高めており、国内においても事業再編や経営統合による雇用・所得環境に対する先行き不安から、個人消費の低迷は容易には回復が見込めず、景気後退は更に続くものと思われれます。

当業界におきましても、経営環境は依然として厳しく、商品の低価格化やサービス内容の差別化によるシェアの獲得競争は一層激しさを増すものと思われれます。

この様な状況のなか当社グループにおきましては、中期経営計画の実現を重点課題とし、通信カラオケ市場における絶対的有利な立場を維持拡大するため稼働台数の増加に最大限注力してまいります。

業務用カラオケ事業におきましては、当下期は配信楽曲や映像を増強するなどサービス内容の充実を図るとともに、効果的な販売施策を実施し上期以上の商品出荷を目指してまいります。カラオケルーム事業におきましては、投資・経営効率の改善を最重要課題とし、当下期は新規6店舗の開店を計画しております。また、コンテンツ事業におきましては、コンテンツの強化・充実による加入者の増加に努め、新規事業の開発と実現にも積極的に取り組み事業拡大を目指してまいります。

一方、当下期より株徳間ジャパンコミュニケーションズが新たに連結の範囲に加わり、これと日本クラウン(株)及び既存の当社子会社(株)ガウスエンタテインメントを併せて新規事業区分「音楽ソフト事業」としてセグメントを追加することとなります。今後は、各社の経営資源の相乗的活用を実現し経営効率化を図るとともに、当社グループの各事業展開において各社の有する豊富なコンテンツを有効活用し、新たな収益の柱として業容拡大を図るものであります。

以上の結果、通期の業績については売上高1,000億円、経常利益95億円、当期純利益32億円を見込んでおります。

セグメント別概況

セグメント別の概況は以下の通りであります。なお、当中間期より事業の種類別セグメントを下記の通り変更し、各セグメント別の前年同期比較にあたっては、前中間期の実績を変更後の区分に組み替えて行っております。

- (1)「商品・製品の販売及び賃貸事業」の名称を「業務用カラオケ事業」に変更いたしました。
- (2)「その他の事業」に含まれておりました携帯電話向け着信メロディー配信サービスを主とするeビジネス事業を、従前の「衛星放送事業」と併せて「コンテンツ事業」に変更いたしました。

業務用カラオケ事業

商品の価格競争が激化するなか、主力商品である「DAM - G128」に加え、昨年10月に発売した普及機種「サイバーDAM」がその価格と性能において広く市場で受け入れられ、商品出荷台数が前年同期に比べ23%、当初計画に対しても10%上廻るなど順調に推移し、これに呼応して通信カラオケの稼働台数が安定的に増加していることから情報提供料収入も着実に伸長いたしました。一方、カラオケ機器賃貸につきましては、契約件数は増加しているものの機器賃貸料の低下に歯止めが掛からない状況でありました。この結果、売上高は前年同期比2.0%の減少の26,148百万円となりましたが、販管費の低減もあり営業利益は前年同期比4.1%増加の4,430百万円となりました。

カラオケルーム運営事業

当事業におきましては、参加人口の減少や事業者間の過当競争も相まって非常に厳しい経営環境が続いております。当中間期におきましても経営効率の向上を目指し、5月に不採算の7店舗を閉店し、東京、千葉、大阪におきまして3店舗を新規出店いたしました。一方1人当たりの平均利用単価は若干増加したものの閉店が先行したことや集客数減少が大きく影響し、売上高は10,570百万円と前年同期と比べ6.4%の減少、営業利益は496百万円と前年同期と比べ46.9%の大幅な減少となりました。

コンテンツ事業

当事業では、前述の通り携帯電話向け着信メロディー配信サービスを主とするeビジネス事業の重要性が増したことから事業区分を見直し、従前の「衛星放送事業」と併せて「コンテンツ事業」とすることといたしました。

衛星放送事業におきましては、テレビ2チャンネル・ラジオ100チャンネルの民生用契約の伸びが鈍化しているなかで、業務用契約の加入件数が順調に増加し、売上高は前年同期比16.9%増加、営業損失は赤字幅が約3億円改善いたしました。

eビジネス事業におきましては、iモード向け着信メロディーサービスの契約数が販促キャンペーン効果もあり好調に推移し、通期で70万件の増加計画に対し当中間期で59万件の増加となり、これに伴い売上高は前年同期比6.6倍、営業利益は同15倍と増益に大きく寄与いたしました。

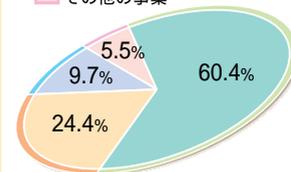
以上の結果、当事業の売上高は前年同期比88.7%増加の4,192百万円、営業利益は1,107百万円改善し553百万円となりました。

その他の事業

当事業におきましては、飲食事業及び不動産事業が主なものであり、当中間期におきましてはこれらを中心に各事業が順調に推移し、売上高は前年同期比12.2%増加の2,401百万円、営業利益は前年同期比33.9%増加の598百万円となりました。

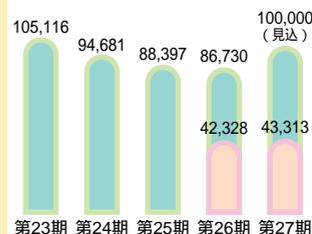
連結売上構成比 (単位: %)

- 業務用カラオケ事業
- カラオケルーム運営事業
- コンテンツ事業
- その他の事業



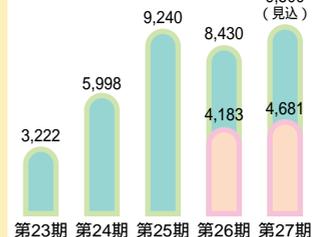
連結売上高 (単位: 百万円)

- 通期
- 中間期



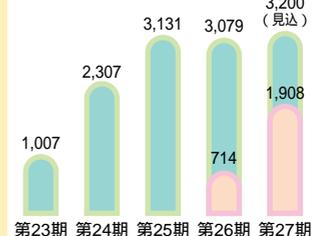
連結経常利益 (単位: 百万円)

- 通期
- 中間期



連結中間(当期)純利益 (単位: 百万円)

- 通期
- 中間期



TOPICS



さらなる飛躍に向けた構造改革。 ハード販売からコンテンツや情報発信を核としたサービス事業型企業グループへ。



グループ企業を通じて、質の高い親しみやすい音楽作品を創造。

エンターテインメントコンテンツを語る上で、欠かすことのできない音楽の世界。その業界振興と作品創造に情熱を持って取り組むべく、(株)ガウスエンタテインメントに加え、新たにグループ企業となる「日本クラウン(株)」(平成13年11月28日より51.48%出資子会

社)「(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ」(平成13年10月1日より100%出資子会社)などの音楽レーベル企業を通じて、常に質の高い、広く受け入れられる作品を産み出します。

日本クラウン(株) 所属アーティスト



北島 三郎



鳥羽 一郎



潮川 瑛子



キムヨンジャ



Gackt

(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ 所属アーティスト



五木 ひろし



吉 幾三



岡本 真夜



三木 道三



千と千尋の神隠し
サウンドトラック



ウェブサイトによる情報公開・事業PRを積極的に展開。

公式サイトdkkaraoke.co.jpのリニューアル、総合音楽サイトのclub DAM.com、100チャンネル音楽放送スターデジオの番組情報サイトSTAR digio.comの新設により、3サイト体制で情報公開・事業PRを展開。新鮮でわかりやすい情報を発信する他、今後のプロモーション活動、ビジネス展開にもリンクします。



www.dkkaraoke.co.jp/ (official)

ニュースリリース
会社情報
投資家の皆様へ(財務情報)
環境に対する取り組み
事業内容



www.stardigio.com/
(STAR digio information)

チャンネル案内
番組トピックス
放送内容(pdf)



www.clubdam.com/ (entertainment)

J-POP NEWS
演歌&歌謡のweb(演歌&歌謡情報)
DAM ENTERTAINMENT
BIG ECHO INFORMATION
メロDAM INFORMATION
karaoke@dam
STAR karaoke番組情報
Eco Music TV番組情報
club DAM FM PROGRAM(提供FM番組連動企画)
GAUSS

中間貸借対照表の要旨

(平成13年9月30日現在)

科目	金額(百万円)	構成比(%)
資産の部		
流動資産	50,943	38.9
現金及び預金	26,293	
受取手形及び売掛金	13,566	
有価証券	11	
たな卸資産	6,458	
その他の	5,655	
貸倒引当金	1,042	
固定資産	80,155	61.1
有形固定資産	47,948	36.6
建物及び構築物	12,159	
土地	17,078	
その他の	18,710	
無形固定資産	5,848	4.4
投資その他の資産	26,358	20.1
投資有価証券	5,019	
差入敷金・保証金	11,465	
その他の	13,354	
貸倒引当金	3,480	
資産合計	131,099	100.0
負債の部		
流動負債	41,388	31.6
支払手形及び買掛金	6,306	
短期借入金	24,263	
未払金	4,407	
その他の	6,411	
固定負債	36,156	27.6
転換社債	15,790	
長期借入金	15,463	
その他の	4,902	
負債合計	77,545	59.2
少数株主持分		
少数株主持分	4,625	3.5
資本の部		
資本金	12,348	9.4
資本準備金	24,000	18.3
再評価差額金	25,419	19.4
連結剰余金	38,558	29.4
その他有価証券評価差額金	678	0.5
為替換算調整勘定	121	0.1
自己株式	3	0.0
資本合計	48,928	37.3
負債、少数株主持分及び資本合計	131,099	100.0

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書の要旨

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

科目	金額(百万円)	百分比(%)
営業収益	43,313	100.0
営業費用	38,315	88.5
割賦販売未実現利益	89	0.2
営業利益	5,086	11.7
営業外収益	877	2.0
営業外費用	1,282	2.9
経常利益	4,681	10.8
特別利益	506	1.2
特別損失	1,202	2.8
税引等調整前中間純利益	3,985	9.2
法人税、住民税及び事業税	1,753	4.0
法人税等調整額	201	0.5
少数株主利益	121	0.3
中間純利益	1,908	4.4

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- (注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 50,484百万円
 2. 1株当たり中間純利益 101円79銭
 3. 1株当たり株主資本 2,609円67銭

中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

科目	金額(百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,215
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,678
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,062
現金及び現金同等物の中間期末残高	23,687

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間貸借対照表の要旨

(平成13年9月30日現在)

科目	金額(百万円)	構成比(%)
資産の部		
流動資産	28,600	36.0
現金及び預金	14,878	
受取手形	1,819	
売掛金	6,049	
たな卸資産	3,725	
その他の	2,750	
貸倒引当金	622	
固定資産	50,883	64.0
有形固定資産	21,432	27.0
建物	5,462	
土地	6,039	
その他の	9,930	
無形固定資産	5,243	6.6
投資その他の資産	24,207	30.4
投資有価証券	4,385	
長期貸付金	5,832	
差入敷金・保証金	8,573	
その他の	9,886	
貸倒引当金	4,471	
資産合計	79,483	100.0
負債の部		
流動負債	17,153	21.6
支払手形	3,104	
買掛金	2,422	
短期借入金	5,801	
未払金	3,192	
未払法人税等	1,177	
その他の	1,454	
固定負債	20,288	25.5
転換社債	15,790	
長期借入金	3,198	
その他の	1,300	
負債合計	37,441	47.1
資本の部		
資本金	12,348	15.5
資本準備金	24,000	30.2
利益準備金	485	0.6
再評価差額金	25,419	32.0
剰余金	31,304	39.4
任意積立金	29,450	
中間未処分利益	1,854	
その他の有価証券評価差額金	673	0.8
自己株式	3	0.0
資本合計	42,041	52.9
負債・資本合計	79,483	100.0

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書の要旨

(平成13年4月1日から平成13年9月30日まで)

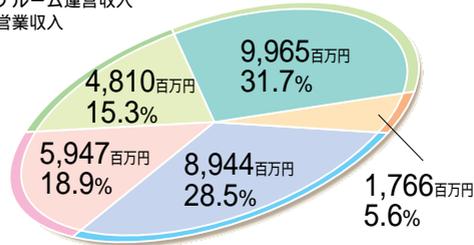
科目	金額(百万円)	百分比(%)
営業収益	31,433	100.0
営業費用	28,164	89.6
割賦販売未実現利益	50	0.2
営業利益	3,219	10.2
営業外収益	445	1.4
営業外費用	830	2.6
経常利益	2,833	9.0
特別利益	520	1.7
特別損失	932	3.0
税引前中間純利益	2,421	7.7
法人税、住民税及び事業税	1,006	3.2
法人税等調整額	193	0.6
中間純利益	1,221	3.9
前期繰越利益	644	
再評価差額金取崩額	11	
中間未処分利益	1,854	

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

- (注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 23,221百万円
 2. 1株当たり中間純利益 65円16銭
 3. 1株当たり株主資本 2,242円38銭

単体売上構成比

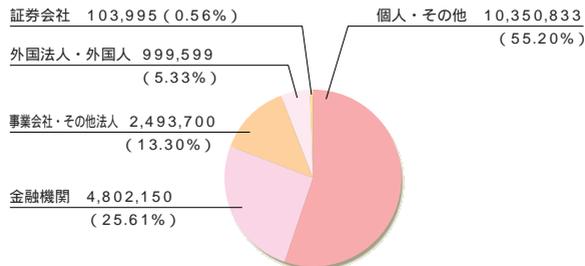
- 商品売上高
- 製品売上高
- カラオケ機器賃貸収入
- カラオケルーム運営収入
- その他営業収入



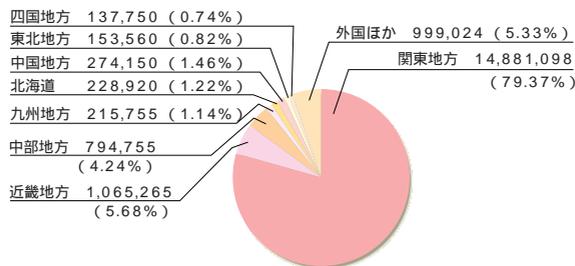
株式の状況

会社が発行する株式の総数 60,000,000株
 発行済株式の総数 18,750,277株
 株主数 12,990名

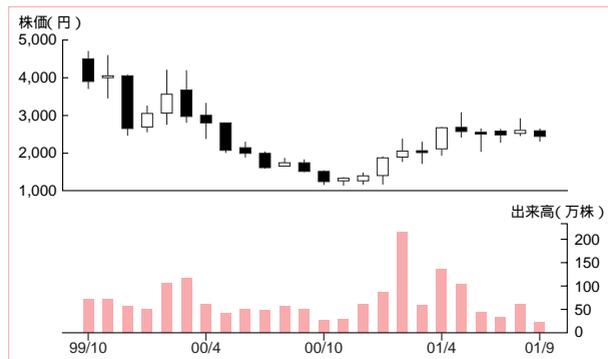
所有者別株式分布 (株式数比率/単位:株)



地域別株主分布 (株式数比率/単位:株)



株価(月足)チャート



役員

(平成13年9月30日現在)

役職	氏名
社長 (代表取締役)	保 志 忠 彦
専務取締役 兼 上席執行役員	米 田 龍 佳
専務取締役 兼 上席執行役員	鈴 木 富 夫
常務取締役 兼 上席執行役員	輿 水 慎 一
常務取締役 兼 上席執行役員	齋 藤 至 廣
常務取締役 兼 上席執行役員	松 川 伸 一
常務取締役 兼 上席執行役員	三 野 浩
取締役	福 本 益 夫
常勤監査役	石 川 樹 一
常勤監査役	田 村 晴 彦
監査役	高 橋 久 美 子
監査役	有 近 真 澄
執行役員	有 馬 伸 治
執行役員	檜 原 敬 親
執行役員	保 原 志 幸 男
執行役員	林 三 郎
執行役員	緑 川 智 博
執行役員	鈴 木 康 之
執行役員	田 原 弘 恒
執行役員	畑 英 爾
執行役員	貞 未 俊 一

会社概要

商号	株式会社 第一興商 (英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.
所在地	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 TEL.(03)3280-2151(大代表)
設立	1973年4月16日
資本金	12,348百万円
従業員数	当社 1,247名(平成13年9月30日現在) グループ 2,736名(平成13年9月30日現在)
店頭登録	1995年9月19日

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	利益配当金については3月31日 中間配当金については9月30日(当期は中間配当を実施しておりません。)
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	〒100-8212 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 (郵便物送付先) (電話照会先)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03)391-1900(代表)
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
証券・銘柄コード	7458

平成13年10月1日施行の商法改正により、単元株制度が廃止され、単元株制度が新設されました。また額面株式制度が廃止され無額面株式となりましたが、この改正に伴う株主様のお手続きは一切不要です。

<お知らせ>

- 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。
- 配当金を郵便貯金口座へお振込みすることができるようになりました。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので名義書換代理人に指定書用紙をご請求ください。